

第184号

会津坂下農業普及所たより

## みどりのこだま

## 願いを込めて里山のつぶ



令和2年度新嘗祭献穀米「里山のつぶ」の御田植え式（令和2年5月25日、金山町横田）  
献穀者は（株）奥会津金山大自然の押部清夫様（向右）

令和2年度の新嘗祭（秋に皇居で行われる宮中行事）に献上する献穀米の御田植え式が、令和2年5月25日に金山町の（株）奥会津金山大自然の管理水田で執り行われ、献穀者の押部清夫様始め押部金山町長らにより、秋の収穫に願いを込めて、福島県オリジナル品種「里山のつぶ」が移植されました。

献穀者となられる押部清夫様は、金山町の農業振興のため金山町特産の「アザキ大根」や「奥会津金山赤カボチャ」の育成に尽力貢献された方ですが、役場を御退職後はさらに（株）奥会津金山大自然の設立に尽力され、自ら代表取締役として町内一の担い手となり、水稻や「奥会津金山赤カボチャ」等の生産販売に御活躍されています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症という歴史的



御田植え（右から二人目、押部町長）

難題からの幕開けとなり、依然として先行き不透明な状況です。しかし農作物の栽培や畜産物の生産に待ったはなく、管理されている農家の皆様始め、流通販売に至るまでご苦労されている全ての方々へ感謝と敬意を表します。「明けない夜はない」と信じ、偏見を持つこと無く、互助を得意とする豊かな日本人として日々出来ることを考えていきたいと思ひます。

（会津坂下農業普及所長 高橋平）

## 頑張ってます！新規就農者



金生 晃さん（昭和村）  
経営内容：花き（宿根カスミソウ）

出身地は東京都で、転職を機に何かを作る仕事に取り組みたいと考え、「かすみの学校」による体験をきっかけに、新規参入により昭和村で就農しました。

1年間の研修後、大芦地区で宿根カスミソウの栽培を開始し、今年で2年目になります。「村の生活も農業も楽しく、カスミソウ栽培をずーっと続けていきたい」とのことでした。



林 玄三郎さん（昭和村）  
経営内容：花き（宿根カスミソウ）

会津若松市出身で、学生から1年間の研修を経て新規参入により就農しました。自然に囲まれた環境で自分のペースで働くことができると考え就農を希望し、「かすみの学校」での経験から昭和村での宿根カスミソウ栽培に取り組むこととなりました。

現在は1人で頑張っていますが、将来は家庭を持ち維持できる経営を目指しています。

活動中!

## 両沼農村青年クラブ

会員募集

4月10日（金）に両沼農村青年クラブの令和2年度の活動打ち合わせを行いました。

両沼農村青年クラブは、会津坂下農業普及所管内の若手農業者で構成された組織で、会員相互の連携、資質向上を図り、次代を担う農業者として地域農業の振興に寄与することを目的に活動を行っています。昨年度は、水稻流し込み肥料の試験や自作センサーの研修など、充実した活動を行いました。

今年度は新たな会員を1名迎え、充実した活動内容にするべく、会員がそれぞれの営農に関する課題や疑問点を話し合いました。

土づくりやスマートセンシング、ドローン活用、先進地視察等の多くの活動案が検討され、それぞれの農業に対する情熱が垣間見える打ち合わせとなりました。

新会員募集中です。興味のある方は普及所までご連絡ください！



活動打ち合わせの様子

たねば

## 紹介します！水稲種子場「JA会津よつば湯川水稲採種部会」

福島県では、品質の高い主要農作物種子を供給するため、種苗法や農産物検査法に基づき、関係機関団体と協力しながら県内各地に「種子場」を設置しています。

湯川村は県内有数の銘柄米産地ですが、昭和38年に水稲種子場が設置されて以来、長年に渡り優良種子の供給に貢献してきました。現在、JA会津よつば湯川水稲採種部会（田部節雄 部会長）により種子場が運営され、令和2年度は部会員23名で、コシヒカ

り、ひとめぼれ、五百万石、福、笑い（福島40号）の4品種計65.3haを栽培しています。

部会員は種子予措から一貫して厳しい栽培管理に取り組み、ほ場環境（病害虫、雑草、異型、倒伏等）から種子の発芽率に至るまで厳しい基準をクリアしたもののだけを種子として出荷しています。種子場の苦労には想像以上のものがありますが、今後とも優良種子生産のため精進していきたくと思います。



会津盆地のほぼ中央、水稲種子場の状況（7/15撮影）



部会役員、事務局の皆さん、写真前列左が田部部会長

## お知らせ

### 令和2年度産米から旧市町村単位の抽出検査となります

福島県では、令和2年産米より、避難指示等のあった市町村を除いて、旧市町村（昭和25年2月1日時点）単位のモニタリング検査（抽出検査）に移行します。

生産者の皆様におかれましては、旧市町村ごとの生産地の検査結果が判明するまで、出荷・販売（有償・無償の譲渡を含む）の自粛をお願いします。

また、収穫・乾燥・調製時の異物混入による二次的な汚染防止など、会津産米の安全確保の取り組みに、引き続き御協力をお願いします。

### 令和2年度の農業短期大学校研修について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程の変更や中止になった研修があります。今後の研修は開催予定ですが、状況により変更される場合もありますので、農業短期大学校研修部のホームページをご確認いただくか、下記の連絡先へお問い合わせください。

農業総合センター農業短期大学校 研修部（電話）0248-42-4114

**農薬は正しく使って事故防止！**

**目指せ！農作業事故ゼロ！  
農作業中の暑さ対策は必ず実行！**

# 農地バンクは地域農業の未来を応援します

## 農地を貸したい！農地を借りたい！

そんなときは…「農地バンク」(地域マネジャー)又は管理町村へご相談ください！

○農地バンクとは、全ての都道府県で設置した「農地の貸し借りニーズを結びつける公的機関」です。本県では公益財団法人福島県農業振興公社が「農地中間機構」として活動しています。

○地域マネジャーとは、農地中間管理機構で県内14か所に設置した地方駐在員です。両沼地方は当普及所に駐在する那知上(ナチガミ)が担当します。

(電話) 080-3754-3071

## 令和2年度 会津坂下農業普及所職員紹介

令和2年度は新任職員3名を迎えて、職員13名で頑張ります。

なお、有機農業担当は今年度も会津農林事務所農業振興普及部、星輝幸が引き続き会津坂下地域も担当します。

本年度、会津坂下農業普及所に異動となった職員(前勤務地)

酒井麻理子  
(新規採用)  
大島 健司  
(本庁 畜産課)  
石川 涼平  
(本庁 農業振興課)



須佐 芽生 (会計年度任用事務職員・坂下)	角田 小夜子 (モーターリング業務補助・坂下)	那知上 一房 (農地中間管理機構・坂下)	若月 祐太郎 (野菜・坂下)	片桐 優亮 (作物・坂下)	皆川 博孝 (野菜・坂下)	薄 真昭 (果樹・坂下)	穴戸 邦明 (花き・坂下)
小森 秀雄 (作物・金山)	酒井 麻理子 (花き・坂下)	大島 健司 (畜産・坂下)	次長 兼地域農業推進課長 田口 明広 (野菜・坂下)	所長 高橋 平 (作物・坂下)	経営支援課長 阿部 和博 (果樹・坂下)	石川 涼平 (作物・坂下)	主任主査 福田 秀之 (花き・金山)

◇内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町656-1 (電話) 0241-54-2801